

■開催趣旨

防災・減災のために、家庭で・地域で・子ども会で何ができるか
何を備えるか、次代を担う子どもたちに伝えるためにみんなで考える

■期日

2014年6月14日(土) 13:30~16:30(3時間)

■会場

尼崎市青少年センター 1階 研修室

■参加者

29名 (小学校5年生1名 中学生1名、高校生4名、大学生2名、
および子ども会育成者21名)

■概要

阪神・淡路大震災当時のまちの様子をスライドショーで鑑賞し、
被災体験を語り部(講師)に聞いた後、防災・減災に向けて、
家庭や地域、子ども会でできることを全員参加型の意見交換で考えた

■実施スケジュール

時間	内容
13:30	あいさつ つなぐ手プロジェクト実行委員 阪神ブロック子ども会連絡協議会会長 柴田光啓
13:35	オープニングスライド 「阪神淡路大震災って…」
13:45	語り部によるお話し 「1.17 あのとき私は、あれから地域は、そして…」
14:10	全員参加型即答フリップ方式ディスカッション 「考えてみよう!子ども会でできる災害への備え」
16:30	終了・事務連絡 尼崎市子ども会連絡協議会事務局

■語り部

尼崎市子ども会連絡協議会
会長 山田実氏

■ワークショップ運営チーム

ファシリテーター 一般社団法人兵庫県子ども会連合会
事務局長 浅見真一
スタッフ・記録 青少年活動リーダー 5名

■会場の様子



オープニングスライド



ディスカッション

■参加者の感想

- ・いろいろ学べてよかった
- ・備えが大切だということを近所の人に伝えよう
- ・話し合いはひとり一人の意識を向上させるものだなあ
- ・被災体験者のお話に実感が湧いた
- ・充実していました。よかったです
- ・帰ったら早速子どもたちに今日のことを話してみよう
- ・このやり方に納得!
- ・今、災害に向けてやらないといけないことがある
- ・「つながり」の意味がわかった
- ・こういう座談会を地域でやってみよう